

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90247 (90218)	日本芸術文化学研究B (民族芸術文化学研究A)	2単位 後期 (4単位 通年)	1・2	講義	波平 八郎

※平成 27 年度以降の入学生：「日本芸術文化学研究B」を登録すること。

※平成 26 年度以前の入学生：「民族芸術文化学研究A」を登録すること。同一年度内に「日本芸術文化学研究A」（2単位）、「日本芸術文化学研究B」（2単位）の両方を履修して「民族芸術文化学研究A」（4単位）に読み替える。

■テーマ 日本文学作品（『南方録 覚書』）の講読

■授業概要

千利休が確立した茶の作法を伝えるとされる『南方録 覚書』を講読する。その際、茶の湯の理論を様々な芸術分野に適用できないか試みる。たとえば、茶の湯の「わび」という理念を文学や美術工芸の分野に適用できるかどうか試みる。（受講生の興味・関心に応じて講読作品を変更することがある。）

■到達目標

茶の湯の理念を通して、日本文学、その他の分野の芸術理念を理解する。

■授業計画・方法

『南方録 覚書』を逐条講読する。受講生は当該作品について授業中に自身の意見を発表する。また、受講生は分担してテキストを輪読する。

なお、講読するテキストについては、受講生の専門分野を勘案して、受講生と協議の上変更することがある。

テキストが『南方録 覚書』の場合、次のような流れで授業を進めていく。

[後学期]	
1	後期オリエンテーション
2	雪の茶会の心得
3	雪の夜会の灯籠
4	茶室
5	不完全の美
6	名物の掛物
7	茶の湯における掛物
8	わび茶の料理
9	懐石の作法
10	茶壺の飾り方
11	捨壺
12	風炉
13	釣瓶水指
14	水指の用い方
15	まとめ・レポート提出

(定期試験は実施しない。)

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

レポートは、それぞれ関心のあるテーマをテキストから選んでレポートする。

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点（50%）、レポート（50%）を総合的に判断する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

芸術文化学研究科（博士課程）の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

■教科書・参考文献（作品）等

□教科書 なし

□テキスト 筒井紘一訳注 『利休聞き書き 「南方録 覚書」』（講談社学術文庫）

□参考文献 適宜指示する。